



令和7年度 11月号

矢中だより

大田区立矢口中学校

HPアドレス <https://www.ota-school.ed.jp/yaguchi-js>

継続することの大切さ

校長 鈴木 孝洋

先日の矢中祭発表部門、お疲れさまでした。皆さんがここまで取り組んできた成果を発揮し、素晴らしい発表ができたと思います。参観された方から、「とてもよい発表だった。」「感動しました。」とお言葉を寄せていただきました。努力が実を結んだ成果だと思います。

その発表部門を見ながら感じたことがあります。継続することの大切さです。観る人を感動させる発表ができたのは、日々の練習を積み重ねてきたからだと思います。日々の積み重ねが人の心を動かす大きな力になるのを目の当たりにして、継続することの大切さを改めて感じました。毎日の学校生活でもたくさんの積み重ねがなされています。授業も1時間1時間の積み重ねですし、部活動や委員係活動もそうです。そう考えると、3年間積み重ねたものは大きな力となることが想像できます。一方で、頑張ろうという気持ちはあるけれど、なかなか続かない。毎時間の授業にしっかり集中しているかと言われれば自信がないと思う人も多いのではないのでしょうか。

では、今回の発表部門に向けて練習が継続できたのはなぜなのか。朝礼でもお話ししましたが、2つのことが大きな要因だと思います。1つ目は、目標があること。「発表部門当日の発表」という目標があったから、続けることができたと思います。2つ目は、共通の目標に向かう仲間が存在です。自分だけでは続けられないことも、仲間と共に取り組むことであきらめず、継続することができたのではないのでしょうか。ぜひ、日々の学校生活で目標を持って過ごすことを心がけてください。そして、仲間と共に、良い授業を作り上げる、一緒に部活動に励む、協力して委員係活動に取り組むことを意識してみてください。一人では継続できない取り組みも、目標を持ち、仲間と共にやり続けようという雰囲気皆さんの背中を押してくれると思います。3年生は進路に向けて様々プレッシャーを感じることが増えてくる時期です。しかし、皆さんは1人ではありません。進路を切り開いていくという共通の目標を持った仲間がいます。そして、1、2年生も授業をしっかり受ける、部活動、委員係活動に取り組むことで、前向きに取り組む学校の雰囲気を創り出してください。毎年のことになりますが。そうしたことが3年生を応援することにつながります。寒い毎日が続きます。インフルエンザ等の感染症対策をしっかり行いながら、矢中生全員が、充実した毎日を過ごせるように、一日一日を大切に過ごしていきましょう。

活躍する矢中生

新俳句大賞

○第36回伊藤園お〜いお茶新俳句大賞

佳作 「川べりの校舎に流れる卒業歌」 3年

「多摩川に金色に浮く初日の出」 3年

「オリオン座見下ろす地上は忙しい」 3年

演劇部

○令和7年度大田区立中学校連合学芸会

優秀 「或る雨の日の旅館で」



サッカー一部

○令和7年度 東京都中学校サッカー新人大会大田区予選

優秀選手賞 2年

美術

○令和7年度 大田区美術展出品者

【平面】三原色で描く水彩表現

1年

【平面】詩のイメージを抽象画で表す

1年

【平面】遠近感のある風景

2年

【半立体】沈金盆

3年